

# ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・9月号・付録  
2009年9月6日発行(毎月1回6日発行)  
昭和43年6月8日第三種郵便物許可  
〒160-0022  
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F  
NPO法人放送批評懇談会  
TEL(03)6379-5521 / FAX(03)6379-5510  
ホームページ http://www.houkon.jp/  
Eメール kondankai@houkon.jp  
編集・隈部紀生

## ギャラクシー賞について今後の課題検討 日韓中TV制作者フォーラム日程、参加作品決まる

### 7月理事会報告

7月27日理事会を開催。

出版編集委員会

「GALAC」9月号の表紙は戸田恵子さん。10月号は「メディアの倫理って何？」を特集する。11月号は「こんな生番組が見たい！」の特集。表紙の句の人は調整中。niftyのポータルサイトの雑誌コーナーに「GALAC」のコンテンツを掲載することにした。料金は無料で、毎月2-3本の提供でスタートしたい。放懇のPRにもなり、ホームページへのリンクも勧誘できる。掲載について著作権問題には十分配慮する。

選奨事業委員会

8月から部門別に順次2009年度上期の作品募集を開始する。

テレビ部門

委員の一部交代、補充を考えて

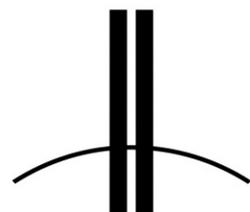
れば各自登録をした上で利用できる。この件で利用希望、ご質問があれば放懇事務局中島まで。

理事会の日程

8月理事会は休会。9月理事会は9月30日(水)、10月理事会は10月28日(水)、どちらも午後6時30分から。

出席

音好宏、隈部紀生、小田桐誠、入江たのし、嶋田親一、滝野俊一、橋本隆、藤久ミネ、松尾羊一



## 会議記録

7月.....

15日 (選奨) ラジオ定例部会  
出版編集委員会  
16日 理事会  
27日 (選奨) テレビ月評会  
29日 (選奨) プロジェクト会議  
30日

## 正会員自己紹介

「タモリ倶楽部」をギャラクシー賞に！  
長谷正人

早稲田大学の文化構想学部教授で、「メディア社会論」やら「テレビ文化論」などを教えています。ただ率直に言って「放送批評」に関しては、新参者です。もともと社会学が専門で、90年代半ばから映画や写真などの映像文化を研究し、テレビについて考え始めたのは「リアリティ・ショー」の隆盛した00年前後からです。「GALAC」編集長に大学院の後輩にあたる丹羽美之氏が就任しなければ、この会も他人事だったと思います。1年半前、丹羽君を含めた仲間たちと「テレビだよ！全員集合」という本を青弓社から出しました。それがテレビ研究の最初の成果です。今度は「GALAC」に山田太一論を連載します。みなさんからご批判を頂ければうれしく思います。なお、「タモリ倶楽部」はいま最高の輝きを見せているのでちゃんと評価してください。「三田用水」の回、敗者復活ならぬでしょうか。これだけの水準を毎週維持しているのは奇跡です。

いる。

ラジオ部門

7月5日に「ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、語り合う会」をニッポン放送で開いた。114人(うち学生40人)が参加して盛況だった。次回は9月20日にTBSで開く。ギャラクシー賞の選奨で「コミュニティ・エフエム賞」といったものをつくれぬか。今後CATVとの関係も考えて選奨事業委員会検討する。

ギャラクシー賞贈賞式について

理事会に先立ってギャラクシー賞の贈賞式や賞のあり方について関係者で反省会を開き、次のような活発な意見が出た。贈賞式が予定より25分延びて一部から苦情が出た。贈賞式の中味を短くするのは難しいので、今後式の時間を増

やし、宴の挨拶などを短くする。

登壇した受賞者のインタビュを増やしたり、ラジオの入賞作を紹介する映像音声がないので、短い紹介コメントを入れるなど、遠来の参加者に納得してもらえぬ演出を工夫したい。2009年度上期の応募状況を見て、10月に再度関係者で打ち合わせをしたい。

日韓中TV制作者フォーラム2009について

日韓中TV制作者フォーラム2009が10月14日(水)から17日(土)まで韓国仁川市で開かれることが最終的に決まった。テーマは「都市と人間」。テーマに沿った参加作品としては、ドラマ「お買物」(NHK)、キャンペーン番組「鳥取方式による校庭芝生化普及キャンペーン」(日本海テレビジョン)、ドキュメンタリー「ネットカフェ難民」(NTV)が決まり、テーマ以外の作品としてドラマ「風のガーデン」(フジテレビ)も参加する。フォーラムに参加を希望する会員は事務局にお問い合わせ願いたい。◇「全国テレビドキュメンタリー」について